

# どうして能動的サイバー防御が必要なの？



サイバー攻撃は **巧妙化・深刻化** するとともに、**サイバー攻撃関連通信数や被害数は増加傾向** にあり、質・量の両面で **サイバー攻撃の脅威は増大** しています。

## サイバー攻撃の巧妙化・深刻化

サイバー安全保障に関わる攻撃例

### ☼ IT系システムの侵害

(暗号化・システム障害、身代金要求)

### ☼ 有事に備えた重要インフラ等への侵入

(高度な侵入・潜伏能力)

### ☼ 機微情報の窃取

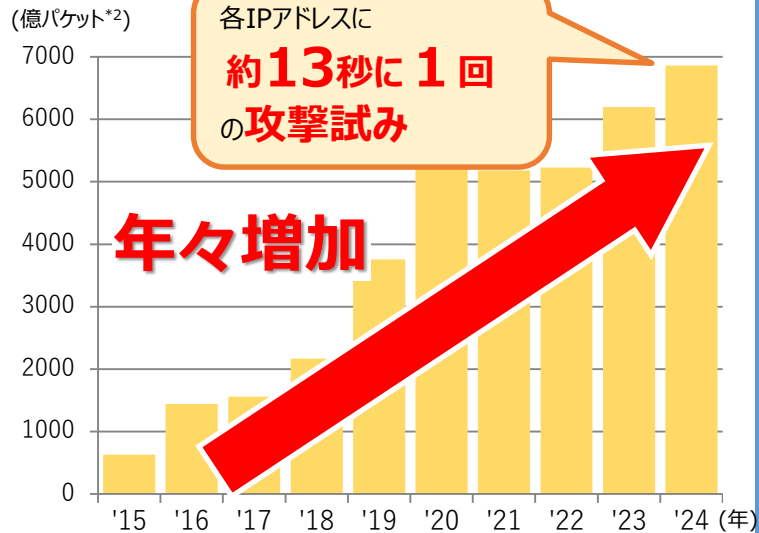
(アクセス権限の獲得)



出典：内閣官房HP公表資料

## サイバー攻撃関連通信や被害の量

NICT \*1が観測したサイバー攻撃関連通信数の推移



\*1 国立研究開発法人 情報通信研究機構

(National Institute of Information and Communications Technology) の略。

\*2 1度に届くデータの塊のこと。センサーがデータを受信した回数と同義。



こういった状況を踏まえ、政府として、国家安全保障戦略において、武力攻撃に至らないものの、国、重要インフラ等に対する安全保障上の懸念を生じさせる **サイバー攻撃** のおそれがある場合に、これを **未然に排除** し、発生した場合の **被害の拡大を防止** するために「**能動的サイバー防御**」を導入することとしています。



今般、能動的なサイバー防御を実施する体制を整備する新法などが国会に提出され、可決・成立いたしました。

次回から、能動的サイバー防御の内容についてシリーズで解説します！